

さいたま神さまマップ 1

深谷

神社を巡る観光散歩にでかけませんか

基本コース 約9.5km

深谷駅 ⇒ 瀧宮神社・八坂神社 ⇒ 唐沢堤・下台池公園 ⇒ 唐沢川鉄橋 ⇒ 旧深谷宿常夜灯
 ⇒ 見返りの松 ⇒ 日吉大神荒神社 ⇒ 国済寺 ⇒ 愛宕神社 ⇒ 楡山神社 ⇒ 福川鉄橋
 ⇒ 瑠璃光寺 ⇒ 稲荷神社 ⇒ 富士浅間神社 ⇒ 深谷城址公園 ⇒ 煉瓦建築の店舗・倉庫
 ⇒ 深谷駅

日本煉瓦製造会社で製造した煉瓦を輸送するために、明治27年から深谷駅と工場間の引き込み線が敷かれ、福川に架けられたポータル型プレート・ガーダー橋と、水田に架けられたボックス・ガーダー橋
 深谷市指定文化財



煉瓦建築
塚本燃料商会店舗



深谷城址公園



瑠璃光寺

天台宗深谷山光明院。大同2年(807)慈覚大師の開山。真業師とも呼ばれる。



福川鉄橋



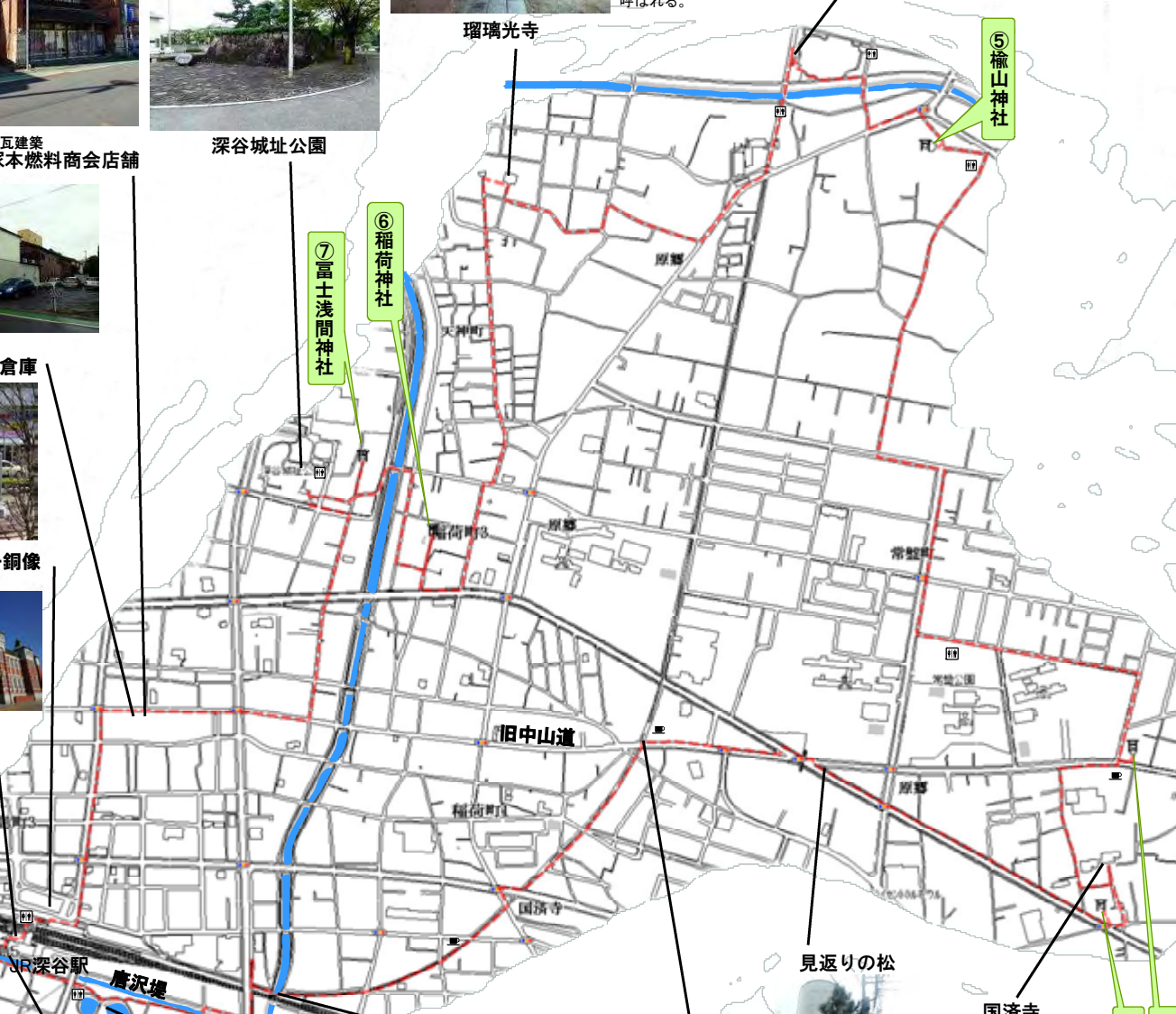
煉瓦建築
常盤園茶舗倉庫



渋沢栄一銅像



深谷駅



⑦ 富士浅間神社

⑥ 稲荷神社

⑤ 楡山神社

④ 愛宕神社

③ 日吉大神荒神社

① 瀧宮神社

② 八坂神社



全長3キロにわたり300本の桜があり、深谷一番の桜の名所



大小二つの池を取り囲むように桜が植えられています



当時の煉瓦等輸送のための日本煉瓦製造工場までの貨物線4.2kmは、廃線後、遊歩道として整備されている。



明治初頭の建立で、高さ約4メートルは中山道最大級の灯籠



旧中山道の松並木のなごりをとどめている



臨済宗京都南禅寺の末寺。ここには深谷城主の上杉氏の祖、上杉憲英の館があった。康応2年(1390)上杉憲英により開基。黒門・山門は市指定文化財

① 瀧宮神社(たきのみやじんじや)

深谷市西島5-6-1

櫛引台地から水が瀧のように湧き出していたことから、「瀧の宮」と呼ばれ、前を流れる唐沢川となって地域の田畑を潤していました。御祭神は、五穀豊穡の神として彦火火出見命(ひこほほでののみこと)が祀られています。また、深谷城の裏鬼門(南西)に当たることから、歴代の城主より篤い崇敬を受けました。



② 八坂神社(やさかじんじや)

深谷市西島5-6-1

康正2年(1456)に上杉房憲が築いた深谷城本丸に「三社天王」として祀られました。

御祭神は、健速須佐之男命(たけはやすさのおのみこと)が祀られています。

深谷城が廃城となった後は、天和元年(1681)に中山道の道路上に宿場の守り神として遷座しました。その後も何度か移転を余儀なくされ、昭和27年(1952)に現在の瀧宮神社境内に移されました。

祇園祭(深谷まつり)は、元禄2年(1689)に始められたもので、旧深谷宿七町会の神輿・山車・屋台が出て賑わいます。7月最終金・土・日曜日。



③ 日吉大神荒神社(ひよしだいじんこうじんじや)

深谷市国済寺520

日吉大神は国済寺の鎮守として、近江国(滋賀県)の日吉大社を勧請したと伝えられています。

御祭神は、大山咋命(おおやまくいのみこと)、火産霊命(ほむすびのみこと)が祀られています。

社殿正面に取り付けられた古い彫刻や屋根の上には、日吉大神の神使である猿を見ることができます。



④ 愛宕神社(あたごじんじや)

深谷市原郷2031

社号標に「火之神」とあるように、火防の神として信仰されています。

御祭神は、火産霊命(ほむすびのみこと)が祀られています。

この地区は、「木ノ本」と呼ばれていますが、江戸時代まで「愛宕林」と呼ばれた、当社の広大な社叢があったことに由来しています。



⑤ 楡山神社(にれやまじんじや)

深谷市原郷336

平安時代に編纂された、『延喜式』神名帳に記載される古社で、現在の深谷市北東部と熊谷市北西部一帯の幡羅郡と呼ばれていた地域の総鎮守でした。

御祭神は、伊邪那美命(いざなみののみこと)が祀られています。

社名は、かつてこの一帯に楡の木が繁茂していたことに由来します。江戸時代には「熊野三社大権現」と呼ばれていましたが、明治時代初めの神仏分離により、元の社名に戻されました。



⑥ 稲荷神社(いなりじんじや)

深谷市稲荷町3-2-58

康応年間(1389~90)に館を構えた上杉憲英は、館の鎮護として、一仏三社を勧請したと伝えられています。一仏とは瑠璃光寺の寅葉師、三社とは、鬼門(北東)守護の末広稲荷、戌亥(北西)守護の永明稲荷、館の守護の智方明神で、当社はこのうちの末広稲荷です。

御祭神は、倉稲魂命(うかのみたまのみこと)が祀られています。

文政年間(1818~30)に再建された社殿には、竜などの彫刻が施され、その優美さは深谷随一といわれています。



⑦ 富士浅間神社(ふじせんげんじんじや)

深谷市本住町16

明治13年(1880)9月に、社名を「富士浅間神社」に改称しましたが、地元では、「智方様」と呼ばれています。これは、康応年間(1389~90)に館を構えた上杉憲英は、館の鎮護として、一仏三社を勧請したと伝えられているからです。館の守護として祀られた智方明神に由来します。その後、深谷城が建てられると城の鎮守として、歴代の城主に崇敬されてきました。

御祭神は、木花開耶姫命(このはなさくやひめのみこと)と瓊瓊杵命(ににぎのみこと)が祀られています。

また、境内には、昭和20年(1945)に当地に疎開していた静岡生まれの加藤省吾が作詞した、童謡「みかんの花咲く丘」の歌碑と顕彰碑があります。

